

## 六曜

六輝、孔明六曜星とも呼ばれる「六曜」。旧暦と密接な関係を持つ「六曜」は、暦の中でも最も有名な暦法で、日常生活のさまざまなシーンで活用されています。

### ◆禁止されたこともある「六曜」

「六曜」の起源は定かではありませんが、中国唐代の「六壬時課」という時間の占いが始まりだと言われています。

日本に入って来たのは14世紀頃。19世紀初頭に今の形になり、幕末以降に一般的になりました。

ただ明治時代になると吉凶付きの暦法は迷信であるとされ、政府から禁止されるのですが、それが逆に庶民の間では話題となり、第二次大戦後には爆発的に流行したようです。

### ◆「六曜」の読み方

読み方はバラバラで、何が正しいといった決まりはありません。

先勝 …… せんかち、せんしょう、さきかち

友引 …… ともびき、ゆういん、いういん

先負 …… せんまけ、せんぶ、せんぷ、さきまけ

仏滅 …… ぶつめつ

大安 …… たいあん、だいあん

赤口 …… しゃくく、じゃくく、しゃっこう

### ◆遊び的要素の強い占い

「六曜」は先勝→友引→先負→仏滅→大安→赤口の順で繰り返されますが、旧暦の毎月1日に限っては、以下のように決められています。

1月・7月 先勝	4月・10月 仏滅	2月・8月 友引
5月・11月 大安	3月・9月 先負	6月・12月 赤口

これを新暦の暦に当てはめると、年や月によって同じ日の「六曜」が変わってきます。そのあたりが運勢占いに用いられるきっかけとなったようです。

### ◆「六曜」の求め方

旧暦の月と日を足し、6で割った、余りで「六曜」が決まります。

余り1 赤口	余り2 先勝	余り3 友引
余り4 先負	余り5 仏滅	割り切れる 大安

例) 旧暦の8月15日

$(8 + 15) \div 6 = 3$  余りが5のため「仏滅」

### ◆「六曜」による運勢

本来は、「六曜」はあまり根拠のない占いなのですが、例えば結婚では大安が吉日、友引・先勝がこれに次ぐ吉日、先負・赤口・仏滅は凶日とされています。

#### 先勝

急ぐことよし、訴訟事よし。午前中は吉、午後は悪し。

#### 友引

勝負無き日と知るべし。朝晩は吉、正午は凶。

#### 先負

万事に平静であることが良、昼過ぎから日暮れまでが吉。

#### 仏滅

祝い事・法事など、万事に凶。

#### 大安

終日万事に吉。

#### 赤口

午の刻だけ吉、朝夕は凶。公事、訴訟、契約などは凶。